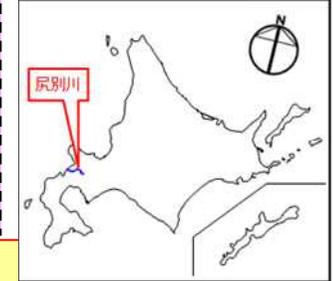


防災学習：【尻別川】中学生を対象に防災意識向上のための防災学習を実施しました

◆尻別川減災対策協議会は、「尻別川の減災に関する取組」のソフト対策の一環として、蘭越町の中学生を対象とした防災学習を実施しました。中学生が避難所を運営する立場となり避難者を受け入れ、避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを『避難所運営ゲーム(HUG)北海道版(Doはぐ)』を用いて模擬体験することにより、ゲームとして楽しみながら災害に対する心構えや災害発生時の対応を学習しました。



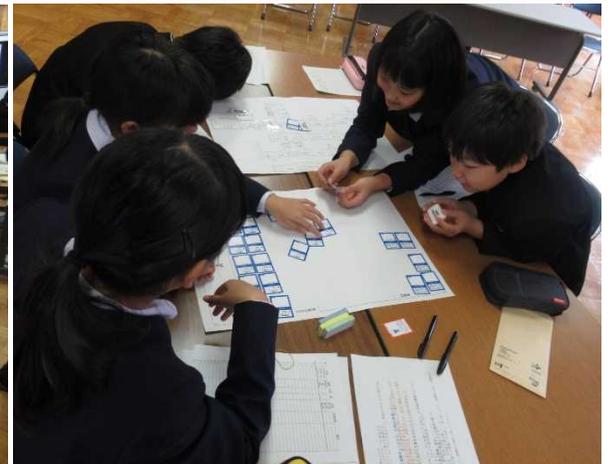
防災学習会の概要

- ◆実施日時：令和元年10月25日(金)13:25～15:15
- ◆場所：蘭越中学校 多目的教室
- ◆参加者：蘭越中学校1年生 30名、
教員・講師・その他 20名 合計約50名

～『避難所運営ゲーム(HUG)

北海道版(Doはぐ)』とは～

静岡県が開発したHUGに、北海道の気候や東日本大震災の経験などの観点を加え、避難所生活や避難所運営を自分の事としてとらえ、地域防災対策の課題をみつけやすくすることを目的に、静岡県の使用許諾を得て北海道が作成したものです。



◆参加した生徒の感想

- ・もし災害があったときに、自分のことだけを考えずに障害のある方や妊婦さんなどを優先しようと考えられるようになった。
- ・避難してくる方々には、本当にいろいろな事情があって、それをすぐに対応していくのは難しいことだと思いました。
- ・班のみんなと協力しあって楽しく学ぶことができたので良かった。

◆尻別川では、大規模水害に対し「迅速・確実な避難のための防災意識向上」、「社会経済被害の最小化」を目標とし、関係機関と連携して、防災教育、防災講演会、防災訓練など「減災に関する取組」を地域住民を含め実施しています。

「尻別川の減災に関する取組方針」、取組事例については、小樽開発建設部ホームページに掲載しています。

(参考) 小樽開建HP：<http://www.hkd.mlit.go.jp/ot/koumu/vu2tjq0000000oym.html>